

開腹婦人科手術を受けられる(9日間)

説明医師

説明看護師(外来)

様へ

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	手術前日(入院日)	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	術後2日目
目標	○手術に対する不安を伝えることができ、最小限となる	○創部からの多量の出血がない ○ドレーンからの出血が少量である ○悪心、嘔吐を認めない ○腸蠕動音が聴取できる ○血栓・塞栓症状がない			○排ガスがある ○早期離床ができる
検査	身長体重測定			採血 尿検査	
食事	・夕食後絶食 ・21時以後の飲水は麻酔科の指示	絶飲食		昼食から流動食開始	昼食から三分粥食開始
	朝食は自宅				
処置・観察	・リストバンドを装着します(退院日まで) ・弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします 夕食後に浣腸をします	午前中に診察があります 時間になれば看護師が手術室にご案内します 点滴用の針を挿入します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → ・尿の管 → ・背中のチューブ(鎮痛剤) ・フットポンプ(血栓予防)(必要時) → 取り外します		創部の確認を行います 点滴終了後抜去します →
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 就寝前に下剤を服用します	手術室で点滴を開始します(手術が午後の場合は、病棟で点滴を開始します)	以下の点滴を行います ・持続点滴 ・抗菌薬		
	シャワー浴できます 制限ありません	以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・アクセサリー、時計等の取り外し	床上安静となります	全身を清拭します 座位ができます 可能なら午前より歩行できます	歩行できます
説明	医師・麻酔科医より(外来または入院時) ・手術と治療計画について ・麻酔について 病棟・手術室看護師より ・入院生活について ・手術について 薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について	医師より ・手術結果について 看護師より ・術後の注意点について ・安静について ・早期離床について ・下肢運動について			

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
経過	術後 3 日目	術後 4 日目	術後 5 日目	術後 6 日目	退院日 術後 7 日目
目標	○排便がある ○リンパ浮腫について理解ができる			○退院後の生活上の注意点が理解できる	
検査	 採血			 採血	
食事	昼食から五粥食開始	昼食から全粥食	昼食から常食		採血・診察の結果 問題なければ朝食後 退院
	  	  	  	  	  
処置・観察	以下の挿入物、装着物があります ・尿の管 → 医師の許可で抜去します ・背中チューブ → 状況を見て抜去します			 診察があります	
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります				
点滴・内服					
行動・リハビリ	 腹部の管が抜けており、熱がなければシャワーができます (週 3 回病棟毎で日が異なります)				
	 腹部に管のある方は全身清拭・洗髪をします				
	 制限はありません				
説明	 看護師より ・リンパ浮腫について			 医師より ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします)	

